

震災後のGW、福島市の両親が遊びに来た。放射線
を心配せず、お弁当を持って弁天島公園に行ったり、
そこら辺を散歩するだけで満足したようだ。最後の日
はごちそうすると言われ、舞阪「魚あら」へ！活き海
老天井のおいしさに、両親は感動していた。

母は会計後、いつまでも店外に出てこなかった。や
っと来た。「間違つて1万円札多く出しちまつて『多
いですよ』つて言わっちゃがら『お金いっぱい持って
つから』つて大笑い。『福島がら、子供のどこさ遊び
に来たんです。いない間、地震で家つぶれつとなんね
ど思つて、お金、全部持つて来ちやつたの』つて言つ
たら『あの原発の（福島）？わざわざ、大人数で（八
人）ありがとうございます、また来てくださいね』つ
て。それがら、奥から三人も出て来て、深々とお辞儀
してくつちやぞいく」とニコニコ顔だった。「静岡で
福島県民入店お断りの看板」というニュースもあつた
ころだ。魚あらの店員さん、ありがとう。